

美園中だより



さいたま市立美園中学校

Tel 048-878-0019

<http://misono-j.saitama-city.ed.jp/>

第2号 令和8年4月30日

学校教育目標

『知性・自律・健全』

～世界へ・未来へ～

☆知性「知を磨き」

☆自律「自らを律し」

☆健全「心身を鍛える」

あいさつすること

校長 坂口 洋美

新年度が始まって1か月が過ぎました。例年のことですが、4月はほぼ毎日学校行事が入っており、怒涛の月となります。今年度も例にもれず、慌ただしく過ぎていきましたが、各学年順調な年度初めとなったことがとても嬉しいです。

朝、正門で学級委員の生徒たちと一緒に登校する生徒に朝のあいさつをしていると、「おはようございます！」と笑顔で挨拶してくれる生徒が多くなった気がします。そんな日は、私も清々しい気持ちで1日をスタートすることができます。生徒だけでなく、車で学校まで生徒を送ってくれた保護者の方も、運転席から笑顔で会釈をしてくださる方がいます。こちらも笑顔であいさつします。言葉はお互いに聞こえませんが、気持ちが通う朝の風景です。

先日、授業の様子を見に行くと、2年生のあるクラスであいさつについての授業を行っていました。担任の先生があいさつについてどう思うかと問うと、「あいさつは大切だ」、「したほうが良い」という意見と、「面倒くさい」、「しなくても別に困らない」、などの意見が出ていました。「なるほどなあ」と思いながら教室を出ました。授業の初めのほうだったので、まずはみんなが率直な意見を出した場面でした。

私はあいさつというのは、ほんの数秒でできるコミュニケーション、関わりであると思っています。1日86400秒の中でほんの少しの時間、相手と言葉を交わす中で、互いに表情や語感、雰囲気などを感じ取る関わりをもつことが、自分を元気にし、相手も心地よくすることができる力があいさつにはあります。だからこそ、相手があいさつを返してくれなかったときのがっかり感、誰しもがちょっと傷つき、あいさつに対して消極的になるきっかけとなっているのかもしれない。その気持ちはよく分かります。大人だってそれは傷つきます。でも、そこを乗り越えてあいさつを続けることで、気持ちが寛容になり、前向きになります。それはあいさつを続けた人だけが理解できる心の成長だと思っています。

正門であいさつしていても、返してくれない生徒もいる中で3年生の学級委員のAさんに、どういうモチベーションであいさつ運動に参加しているのかを尋ねると、「どうすればもっとあいさつしてくれるかを考えながら、あいさつをしている」という答えが返ってきました。ああ、Aさんはあいさつに関わるいろんな感情を乗り越えて、さらに工夫して臨んでいるのだなと思うと、感心するというよりも、尊敬の念が湧いてきました。本当に素晴らしいことです。これは、あいさつを大事にしているからこそその言葉だと感じました。Aさんがあいさつを通じて大きく成長していることに大変嬉しく思いました。Aさんだけでなく同じように成長している生徒がたくさんいるはずですよ。

美園中の生徒みんながこんな心持ちで生活してくれたら、さらに素敵な学校になっていきます。皆さんはどう感じたでしょうか。